

「イクボスアワード 2020」受賞者の紹介

【グランプリ受賞】



(五十音順)

社会福祉法人スプリング

業種：医療・福祉

所長

大久保 友紀子 氏

- ◆ 管理者へのイクボス研修の実施や、子育て期にある職員の変則勤務や時間外労働制限等の取組を進め、仕事と生活を両立できる職場環境づくりを推進
- ◆ 施設内の ICT 化や身体的負荷を低減するノーリフティングケアを導入するなど、職員の身体的負担軽減と業務効率化を推進
- ◆ 定期的に全職員と面談を行い、安心して働き続けられる環境づくりや必要な支援を職員から汲み取るなど、部下一人一人の意見を大事にする

株式会社スーパーストックトーキョー

業種：飲食・小売業

物販事業部マネージャー

西谷 達彦 氏

- ◆ 自身の育児経験から、子どもに安心して食べさせることができる離乳食開発に携わるなど、ライフの経験をワークに繋げるシナジーを体現
- ◆ チーム内に、「全員で情報を共有すること」と「ルーティン業務のマニュアル化」を徹底することで業務の属人化を排除し、チームの業務効率化を推進していたため、新型コロナウイルス感染症の状況下においても効果的・効率的な職務遂行を実現



【奨励賞受賞】

株式会社ビースタイルホールディングス

業種：サービス業（他に分類されないもの）

テクノロジー&マーケティング本部 U-001 部 部長
松浦 修治 氏

- ◆ 育児や介護等の労働時間に制約があるメンバーが多い中、チームメンバーのタスクを可視化した上で、業務調整を随時行うことで、新型コロナウイルス感染症の状況下においても効果的なマネジメントを行った
- ◆ 社内で自主的にビジネススキルや思考力を養う勉強会を主催する等、全社的な視点での人材育成にも寄与